



Violfyre ヴィオリラ

SH-30NW/SH-30NR

取扱説明書

このたびはヤマハ ヴィオリラをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

ヴィオリラの優れた性能を十分に発揮させるとともに、末永くご愛用いただくために、ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みになってください。

次項「安全へのこころがけ」には、思わぬけがや、事故を未然に防ぐための注意が書かれています。内容をご理解の上、この製品を正しく安全にお使いいただきますようお願いいたします。

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。




ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お子様がご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願いいたします。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、下表のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	～しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。



警告 この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意 この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。



警告

分解禁止



この機器の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。感電や火災、または故障などの原因になります。異常を感じた場合など、機器の点検修理は必ずお買い上げの楽器店または巻末のご相談窓口にご依頼ください。

水に注意



浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。また、本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。感電や火災、または故障の原因になります。

異常に気づいたら



本機の内部に異物や液体が入った場合は、すぐに電源アダプターのプラグをコンセントから抜く。(電池を使用している場合は、電池を本体から抜く)

感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの楽器店または巻末のご相談窓口にご依頼ください。



使用中に音が出なくなったり、異常なおいや煙が出た場合は、すぐに電源アダプターのプラグをコンセントから抜く。(電池を使用している場合は、電池を本体から抜く)

感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの楽器店または巻末のご相談窓口にご依頼ください。

電源・電源アダプター



電源アダプターは、指定のものを使用する。

(異なった電源アダプターを使用すると) 故障、発火などの原因になります。



電源アダプターは必ず交流 100V に接続する。

エアコンの電源など、交流 200V のものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



濡れた手で電源アダプターのプラグを抜き差ししない。

感電のおそれがあります。お手入れをする際は、必ず電源アダプターのプラグをコンセントから抜いてください。



電源アダプターのプラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに乾拭きする。

感電やショートのおそれがあります。

⚠ 注意

電源・電源アダプター



電源アダプターコードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源アダプターコードに重いものをのせない。

電源アダプターコードが破損し、感電や火災の原因になります。



タコ足配線をしない。

コンセント部が異常発熱して発火したりすることがあります。



電源アダプターコードやプラグがいたんだときは使用しない。また、長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

感電、ショート、発火などの原因になります。



電源アダプターのプラグを抜くときは、電源アダプターコードを持たずに、必ず電源アダプターのプラグを持って引き抜く。

電源アダプターコードが破損して、感電や火災が発生するおそれがあります。

電池



指定以外の電池を使用しない。

火災、発熱、液漏れの原因になります。



使い切りタイプの電池は、充電しない。

充電すると液漏れや破裂の原因になります。



乾電池が液漏れした場合は、漏れた液に触れない。万一、液が目や口に入ったり皮膚に付いたりした場合は、すぐに水で洗い流し、医師に相談する。

失明や化学やけどなどのおそれがあります。



電池は一度に全部を交換する。電池は新しいものと古いものを一緒に使用しない。また、種類の異なったもの(アルカリとマンガン、メーカーの異なるもの、メーカーは同じでも商品の異なるものなど)を一緒に使用しない。

発熱、発火、液漏れの原因になります。



電池は乳幼児の手の届かない所に保管する。

口に入れたりすると危険です。



電池を分解しない。

電池の中のものに触れたり目に入ったりすると、化学やけどや失明のおそれがあります。



電池を火の中に入れない。

破裂するおそれがあります。



電池はすべて+ / -の極性通りに正しく入れる。

正しく入れていない場合、発熱、発火、液漏れの原因になります。



長時間使用しない場合や電池を使い切った場合は、電池を本体から抜いておく。

電池が消耗し、電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。



使用済みの乾電池は、各自治体で決められたルールに従って破棄しましょう。



電池と金属片をいっしょにポケットやバッグに入れて携帯、保管しない。電池がショートして、破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

接続



他の機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で行う。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小 (0) にする。

感電または機器の損傷のおそれがあります。

運搬 / 設置



直射日光のあたる場所 (日中の車内など) やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、またほこりや振動の多いところで使用しない。

本体のパネルが変形したり内部の部品が故障したりする原因になります。



テレビやラジオ、スピーカーなど他の電気製品の近くで使用しない。デジタル回路を使用しているため、テレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。



不安定な場所に立てない。

機器が転倒して故障したり、お客様がけがをしたりする原因になります。



本体を移動するときは、必ず電源アダプターコードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行う。

コードをいためたり、お客様が転倒したりするおそれがあります。

取り扱い



本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは絶対に使用しない。また、本体上にビニール製品やプラスチック製品などを置かない。

本体が変色 / 変質する原因になります。お手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。



本体の上に乗ったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。

本体が破損する原因になります。



大きな音量で長時間ヘッドフォン (イヤホン) を使用しない。

聴覚障害の原因になります。



楽器の演奏以外には使用しないでください。

振り回すなど乱暴な取扱いは危険です。



弦の交換や調弦時、楽器に顔を近づけすぎないようにしてください。不意に弦が切れて目を傷つけるなど、思わぬ事故の原因になることがあります。



弦巻きからはみ出した弦の先端は短く切ってください。

弦の先端は鋭利なため、けがの原因になることがあります。



演奏は適切な音量で行ってください。

特に深夜の演奏は、他人の迷惑にならないよう、充分注意してください。



ピック・弦などの付属品は、小さなお子様の近くには絶対に置かないでください。

飲み込むと大変危険です。

ヤマハ ヴィオリラ の特長

- 共鳴の少ないソリッドボディ（共鳴箱のない胴体）のため、常に演奏音が小さく、ヘッドフォンを使用することで、周囲に気兼ねなく好きな音量で演奏を楽しむことができます。またアンプを接続して、大きな音で演奏することもできます。
- ボディ形状の工夫やヤマハのエレクトロニクス技術により、弓を使った奏法を可能にしました。バイオリンやチェロに似た音色で演奏することができます。
- 新開発の駒（マルチブリッジ）の採用により、太さの異なる弦に張り替えて、音域の違う楽器として使用することができます。
- リバーブ（音響）機能やトーンコントロール（音質調整）を装備し、豊かで奥行きのある音色や、曲想に合わせた音作りを楽しむことができます。
- AUX IN 端子に“伴奏くん”やCD、カセットテープを接続して、その伴奏に合わせて演奏することができます。
- 音階ボタンの配列や材質などを徹底的に研究し、よりスムーズな運指を可能にしました。



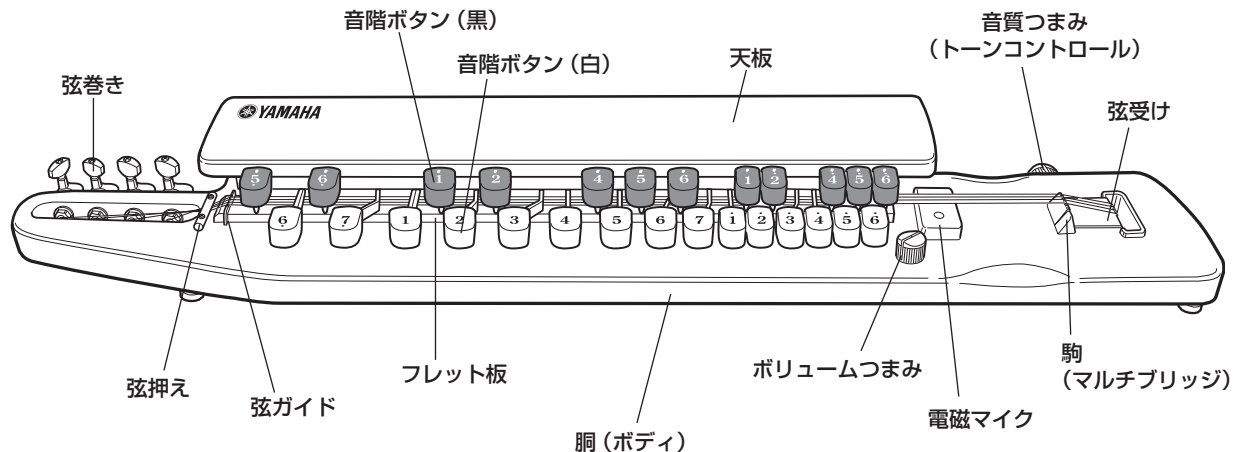
これは日本電子機械工業会
「音のエチケット」キャンペーン
のシンボルマークです。

音楽を楽しむエチケット

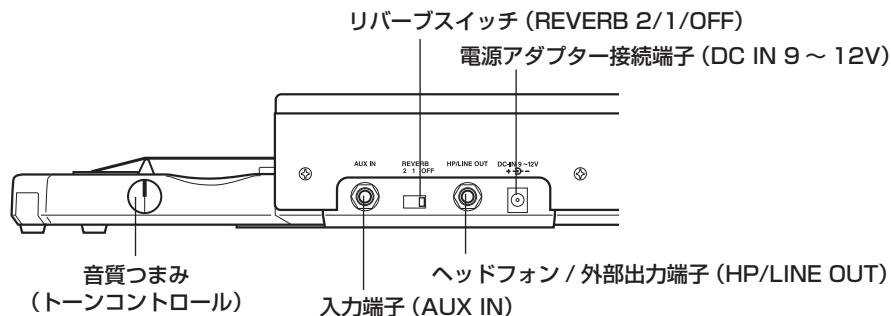
楽しい音楽も時と場所によってはたいへん気になるものです。隣近所への配慮を充分にいたしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬ所で迷惑をかけてしまうことがあります。適度な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドフォンをご使用になるのもひとつの方法です。ヘッドフォンをご使用になる場合には、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

各部の名称

■ 本体 (正面).....



■ 本体 (背面).....



■ 付属品.....

- ・ バイオリン弓 (3/4 サイズ相当) × 1



- ・ 松脂 × 1



- ・ 予備弦 (細線、細巻線、太巻線、各 1)



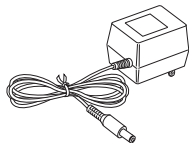
- ・ ピック (ソフト 1 枚、ミディアム 1 枚)



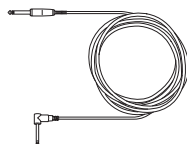
- ・ ヘッドフォン × 1



- ・ 電源アダプター × 1



- ・ ホーンコード × 1



- ・ ハードケース × 1
- ・ 取扱説明書 (本書) 1 冊

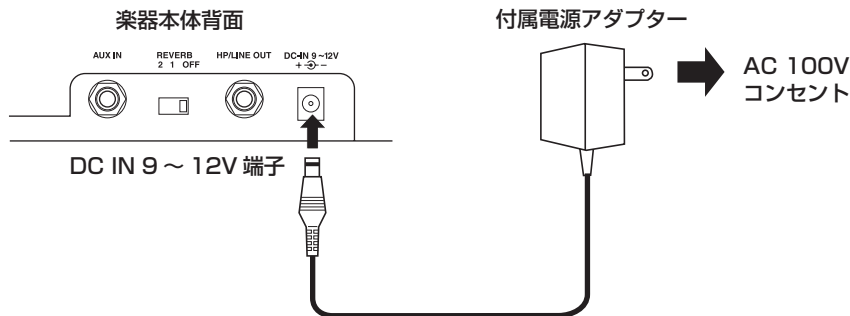
※ 乾電池は付属しておりません。

電源の準備

ヴィオリラは、電源として家庭用コンセントと乾電池（別売）の両方を使うことができます。
電源の準備をする前に、本体正面右側にあるボリュームつまみを左に回して OFF にしてください。

■ 家庭用コンセントから電源を取るときは

1. 図のように、付属の電源アダプターの端子を本体背面の DC IN 9 ~ 12V 端子に、確実に差し込みます。
2. 電源アダプターの電源プラグを家庭用 (AC100V) コンセントに差し込みます。



※ 乾電池が入っている状態で電源アダプターを接続すると、電源は自動的にアダプター側から供給されるようになります。

警告 電源アダプターは、必ず指定のアダプターをお使いください。
他の電源アダプターの使用は、故障・発火などの原因になります。このような場合は、保証期間内でも保証いたしかねる場合がございますので、充分にご注意ください。

■ 乾電池（別売）を使うときは.....

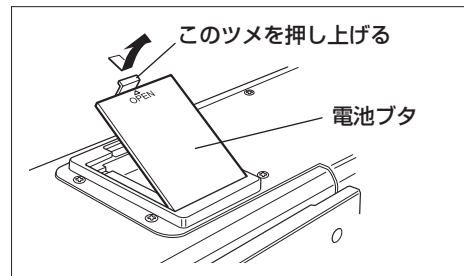
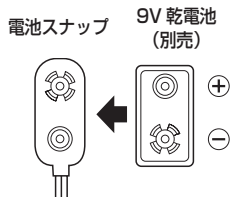
※ 乾電池は付属しておりません。市販の 9V 乾電池（S-006P:6F22）をお買い求めください。

1. 本体を裏返し、ツメを押し上げて電池ボタンをはずします。

2. 電池スナップを電池の端子に取り付けます。
右図を参考に、端子の \oplus \ominus を合わせて、
しっかりとはめあわせてください。

3. 電池ボタンを取り付けて完了です。

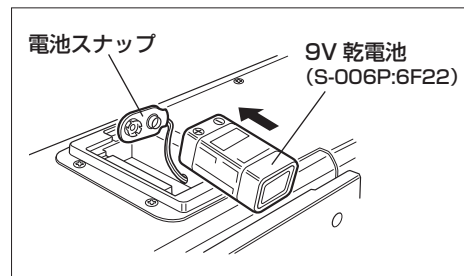
※ 電池が少なくなると、音が歪んだり、リバーブがかからなくなったり、ノイズが発生したりします。そのような場合は、新しい乾電池に交換してください。



注意

長期間使用しない場合は、乾電池を本体から抜いておいてください。乾電池が消耗し、液漏れにより本体を損傷するおそれがあります。

4. 通常の練習では電源アダプターをお使いになると経済的です。演奏会のステージなどで AC 電源の確保が難しい場合は、電池をお使いいただくと便利です。



接続と使い方

■ ヘッドフォン / アンプの接続

● ヘッドフォンの接続

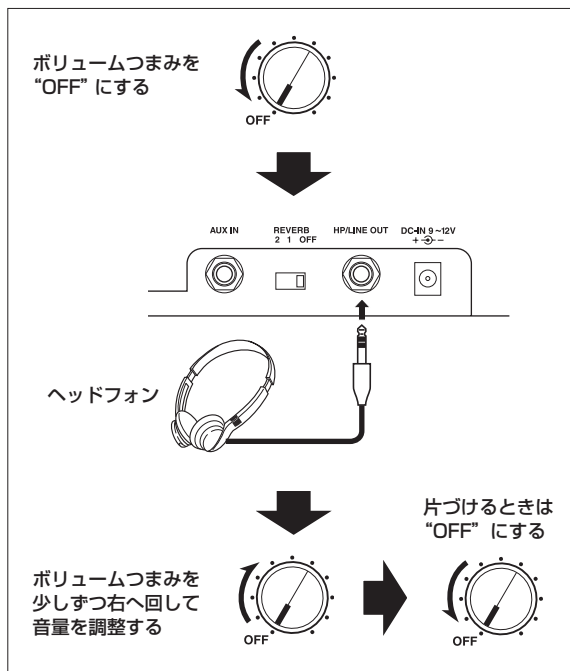
1. 本体正面右のボリュームつまみを“OFF”（左いっぱい）に回すにしてから、ヴィオラ背面の HP/LINE OUT 端子にヘッドフォンのプラグを差し込みます。

! **注意** ボリュームつまみを上げた状態では、絶対にヘッドフォンを抜き差ししないでください。ヘッドフォンの故障の原因となります。また、ヘッドフォンを耳に装着した状態で抜き差しすると、聴覚障害の原因となります。

2. ピックや弓で弾きながらボリュームつまみを右に少しずつ回して、音量を調節します。
3. 演奏をやめる場合は、ボリュームつまみを左いっぱいに回して“OFF”にしてから、ヘッドフォンのプラグを抜いてください。

※ ヘッドフォンを接続した状態でボリュームつまみが“OFF”以外になっていると、ヴィオラの電源が入ったままになり電池や電気を消耗してしまいます。

! **注意** 大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しないでください。聴覚障害の原因になります。



● アンプとの接続

1. アンプ内蔵スピーカーやギターアンプなどの電源を切り、ボリュームを必ず0（最小）にします。
2. 本体正面右のボリュームつまみを“OFF”（左いっぱい）に回してから、本体背面のHP/LINE OUT 端子とアンプの入力端子とを、付属のホーンコードで接続します。

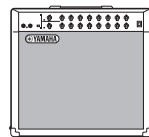
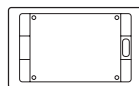
⚠ 注意 ボリュームつまみを上げた状態では、絶対にホーンコードを抜き差ししないでください。

3. アンプの電源を入れ、本体のボリュームつまみを右に回して電源を入れます（カチッとクリック感があります）。
4. ピックや弓で弾きながら本体のボリュームつまみとアンプのボリュームつまみを調節して、音量を調整します。
5. 演奏をやめる場合は、アンプのボリュームつまみと本体のボリュームつまみを左いっぱい（“OFF”）にしてから、ホーンコードを抜いてください。

※ ホーンコードを接続した状態でボリュームつまみが“OFF”以外になっていると、ヴィオリラの電源が入ったままになり電池や電気を消耗してしまいます。

- ・電子チューナーを HP/LINE OUT 端子に接続すれば、メーターなどを使って簡単に調弦することができます。
- ・HP/LINE OUT 端子にカセットレコーダーなどを接続して、演奏音を録音することもできます。

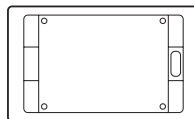
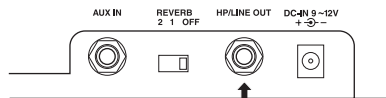
アンプ内蔵スピーカー、ギターアンプの



電源を切り、
ボリュームを必ず
0（最小）にする



本体のボリューム
つまみを“OFF”にする



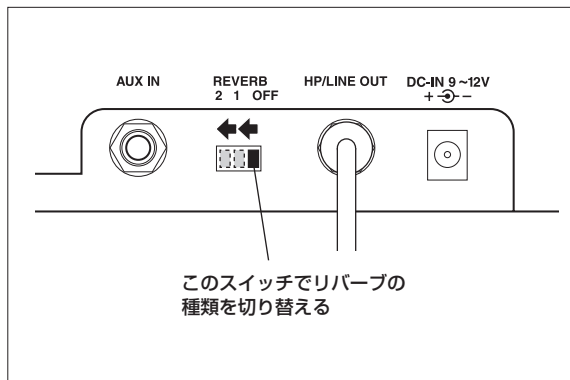
付属ホーンコード

■ リバーブ（残響効果）をかけるには

リバーブ効果とは？

音がよく響く場所（お風呂場など）で演奏しているような残響（リバーブ）を、電气的に加える効果です。本体背面のリバーブスイッチの切り替えで、2 種類の効き方を選ぶことができます。

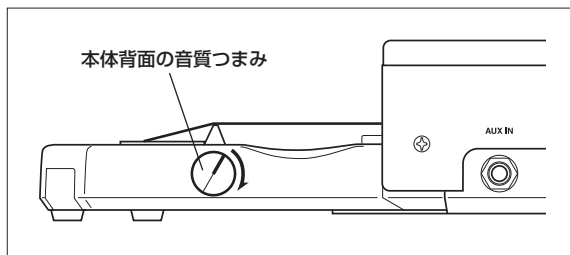
- ・ **スイッチ位置 = 1** 演奏ホールで演奏しているような残響が得られます。
- ・ **スイッチ位置 = 2** スイッチ位置 1 よりも広い演奏ホールで演奏しているような、長い残響が得られます。
- ・ **スイッチ位置 = OFF** 残響効果はかかりません。



■ 音質を変えるには

本体背面の音質つまみ（トーンコントロール）を回すと、音質を調節することができます。

右図のようにつまみを右に回すと高音が強調され、明るくはつきりとした音色になります。逆につまみを左に回すと低音が強調され、やわらかな音色になります。



■ 伴奏くんや CD、カセットの音に合わせて演奏するには

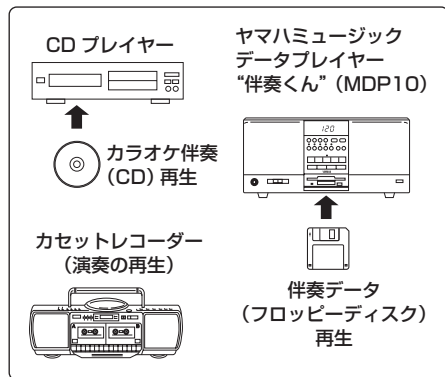
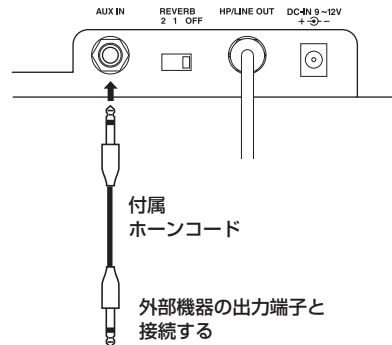
本体背面の AUX IN 端子は、ヤマハミュージックデータプレイヤー“伴奏くん”や CD プレイヤー、カセットレコーダーなどの外部機器からの信号を入力する端子です。“伴奏くん”や CD、カセットテープなどの演奏（音）に合わせて演奏することができます。

● 外部機器との接続

1. 接続する外部機器の電源を切り、ボリュームを必ず 0（最小）にします。
2. 本体正面右のボリュームつまみを“OFF”（左いっぱいに回す）にしてから、本体背面の AUX IN 端子と外部機器の出力端子（OUTPUT, LINE OUT など）とを、付属のホーンコードで接続します。

⚠ 注意 ボリュームつまみを上げた状態では、絶対にホーンコードを抜き差ししないでください。

3. 外部機器の電源を入れ、CD やカセットを再生します。
外部機器の出力ボリュームで音量を調整します。ヴィオラにアンプを接続している場合はアンプのボリュームつまみも調節します。
4. 外部機器の演奏に合わせて演奏してみましょう。



調 弦

- 演奏前にチューナーを使って調弦します。下記の音程に合わせて調弦します。

1・2・3弦



4弦

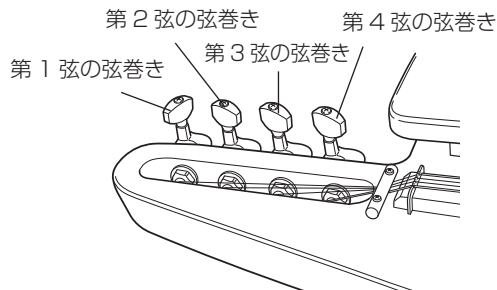


- チューナーをお使いになる際は、それぞれお使いになるチューナーの取扱説明書に従って行ってください。

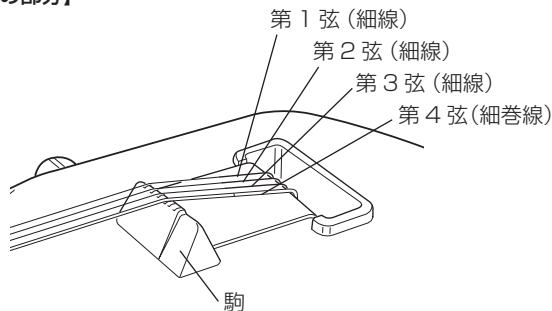
■ 調弦の手順

- 1 第1弦をピックではじき、チューナーを使って「ソ」の音が合うように弦巻きで調節します。
弦巻きは、右に回す（時計回り）と音程が上がり、左に回すと音程が下がります。

【弦巻きの部分】



【駒の部分】



- 2** 第2弦、第3弦をピックではじき、第1弦の音と同じになるように弦巻きで調節します。
第1弦の音と比較しながら、第2弦、第3弦を合わせましょう。
- 3** 第4弦をピックではじき、第1～3弦より1オクターブ(8度)低くなるように弦巻きで調節します。

調弦のポイント

調弦の際は、徐々に音程を上げていって、目的の音に合わせます。高い音程から下げていって目的の音にすると、演奏したときに音程が狂い(下がり)やすくなります。

目的の音程よりも高くなってしまった場合は、一度音程を下げてから、あらためて音程を上げていって目的の音に合わせましょう。

お願い

- 弦を張っておくと、弦がわずかに伸びて音程が低くなります。ヤマハヴィオリラは調弦を完了した状態で出荷しておりますが、お買い上げ時には、音程を確認して再度調弦してください。
- 弦は消耗品です。錆びたり、伸びたり、切れかかると、音程が狂ったり、音色が悪くなったり、音量が落ちます。消耗した場合は、早めにお取り替えください。**替え弦については、ヤマハ特約店にお問い合わせください。**

■ 弦を張り替えて別な音域（音色）にする.....

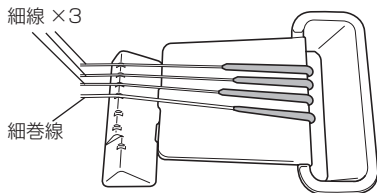
ヴィオリラには、新開発の駒（マルチブリッジ）が装着されています。

太さの異なる弦に張り替えることで、一台で音域や音色の違う楽器として使用することができます。

曲想や編成にあわせて弦の張り方を工夫して色々なアンサンブルを楽しんでください。

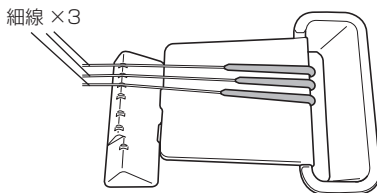
※ 工場出荷時はソプラノ（細線 3 本＋細巻線 1 本）になっています。

● ソプラノ（細線 3 本＋細巻線 1 本）



出荷時はこの状態になっています。
オクターブの音が重なった、大正琴のような音色です。

● ハイ・ソプラノ（細線 3 本）

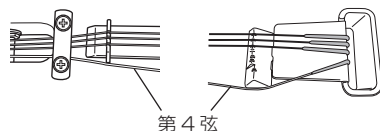


ソプラノから、第 4 弦（細巻線）を外した
細線だけの状態です。
トレモロ奏法をすると、マンドリンの
ような高く澄んだ音色になります。

簡易的にハイ・ソプラノにする

弦押え側

ブリッジ側

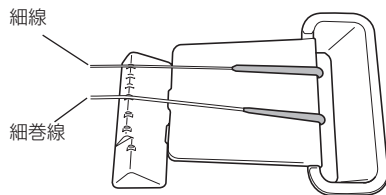


ソプラノの第 4 弦を外さずに簡易的にハイ・ソプラノにする方法です。

第 4 弦をゆるめてフレット板から手前にずらし、あらためて動かないように締めると簡単に変更することができます。

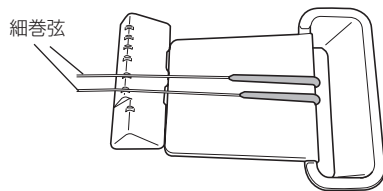
演奏会などでこの方法で変更する場合は、トラブルを防ぐためにずらした第 4 弦をボディにテープ止めをすると安心です。

●ソプラノ / アルト
(細線・細巻線各1本)



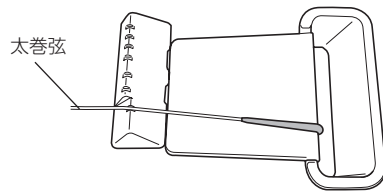
弓奏の場合、ソプラノから第2弦(細線)と第3弦(細線)を外し、上図のように細線と細巻線の2本の状態にします。バイオリンを思わせる音色が楽しめます。

●アルト(細巻線2本)



上図のように駒を奥に移動し、第2弦と第3弦の位置(弦巻き・弦受けとも)に細巻線を張ります。細線の高い音が混じらない、柔らかな音色です。

●テナー(太巻線1本)



上図のように駒を奥に移動し、第4弦の位置(弦巻き・弦受けとも)に太巻線を張ります。アルトよりさらに1オクターブ低い音。弓奏でチェロに似た太い音色が楽しめます。

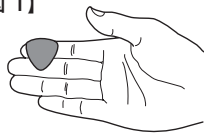
ヴィオリラの演奏のしかた

■ ピックによる演奏

● ピックの持ち方

人差し指と中指の上にピックをのせ(図1)、親指をその上に軽くあてます(図2)。

【図1】



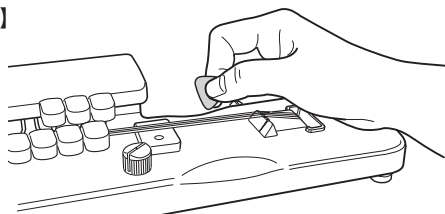
【図2】



● 右手の位置

(図3)のような位置に右手を軽くのせます。

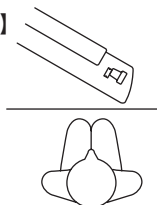
【図3】



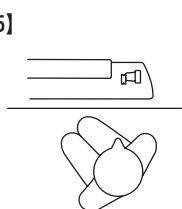
● 楽器の位置と姿勢

体の中心に⑤のボタンがくる位置に置き、右腕とヴィオリラの線が平行になるように(図4)か(図5)の形で演奏します。

【図4】



【図5】



- ・ ピックは付属(ソフト、ミディアム)の他に、ギター用のものなどもお使いいただけます。ピックの形や材質によって、音色や弾き心地が変わりますので、曲想やお好みに合わせて工夫してみてください。
また、ピックを使わずに指で弾く奏法もあります。
- ・ 弓奏後は、弦に付いた松脂を乾いた布で拭き取っておきましょう。弦に松脂が付着していると、ピックや指で弾いた際に弾きにくかったり音の輪郭がぼやけたりします。

■ 弓による演奏

バイオリンやチェロなどの「弓で弦を擦って演奏する」楽器（擦弦楽器といいます）の魅力ある音色は多くの人達の憧れです。しかし、それらの楽器のほとんどは、音程を決める仕組み（フレットなど）を持たないため、習得のためには根気強い練習の積み重ねが必要だといわれています。

ヴィオリラは、音程を決めるフレットを持つギターなどの構造と、ヤマハならではのエレクトロニクス技術による音作りのノウハウを合体して、ピック、指、弓のいずれを使った演奏も可能にした、新しい発想の楽器です。

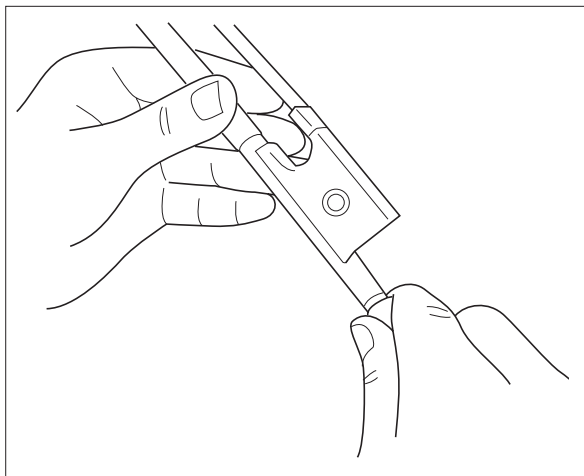
以下のポイントをもとに練習を進めていただくことで、バイオリンやチェロに似た擦弦音を手軽に楽しむことができます。

● 演奏の前に ... (1) 弓の張り方

右図のように、弓の根元のネジを右に回して弓を張ります。
弓の中央部分と弓毛との距離が 6mm ～ 8mm 程度を目安にしてください。

● 演奏の前に ... (2) 弓のゆるめ方

演奏が済んだら、弓は必ずゆるめてください。
(弓の中央部分と弓毛が軽くふれる程度)



● 演奏の前に ... (3) 松脂のつけ方と弓の張り方

左手に松脂を持ち、平均に弓毛に擦りつけます。
一方向だけ擦って溝が掘れないようにしましょう。

※ あまり速く擦って摩擦熱が出ないように、気をつけてください。

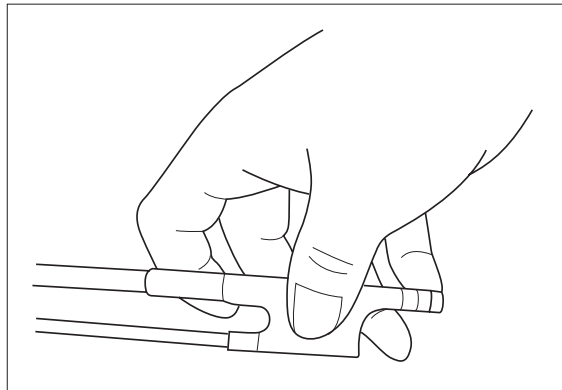
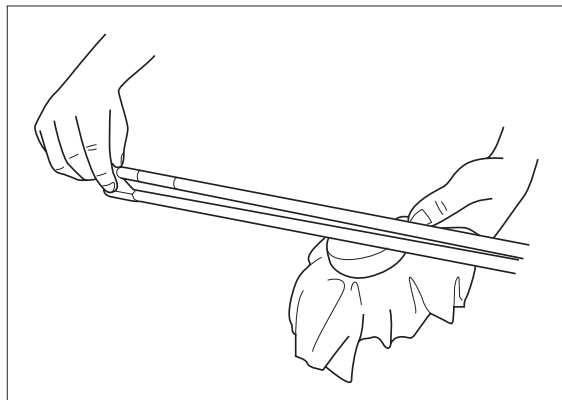
第4弦だけを、開放音（音階ボタンをなにも押さない状態）で静かに弾いてみて、弦と弓毛が確実に摩擦しているか、手の感覚で確認してください。

◆新しい弓の時

新品の弓や、毛を張替えたばかりの弓には、松脂が付いていないのが一般的です。

新しい弓毛は、ツルツルすべて松脂がつきにくい場合が多いので、根気よく馴染ませ、全体に摩擦を感じるまで付けてください。

※ 一度松脂が馴染んでしまえば、普段はあまりたくさんつける必要はありません。



● 演奏の前に ... (4) 弓の持ち方

弓は、手の中にタマゴをそっと握るときのように、指の全体を丸い形にして持ちます（右図参照）。

手首をリラックスさせ、自由な動きができるようにします。

● 演奏時の姿勢

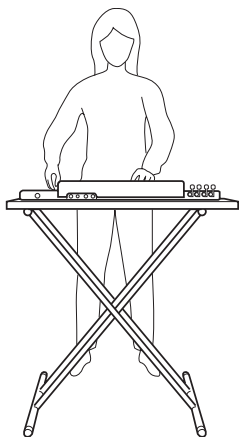
- ・ 立奏・座奏とも、弓を弦にのせたときに肩が上がったり、極端に前かがみになったりしない、自然な楽器の高さを設定しましょう。
- ・ 楽器と身体との角度は平行にします。弓と弦は直角に、弓と腕の線が一直線になるように立ちます。
- ・ 楽器と身体との距離は、ピック奏の時よりも遠めにした方が、運指や弓使いがスムーズにできます。

弓奏に適した高さを設定するために、下図の**演奏スタンド（別売品）**をお使いになると便利です。

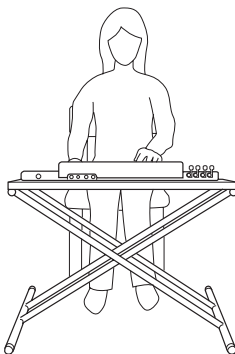
・ 品番：SHS-1

- ・ 高低可変式（弓座奏～ピック立奏まで左右均等対称で5段階）
- ・ 床面とのガタツキを調整するストッパー付き
- ・ 譜面台付き

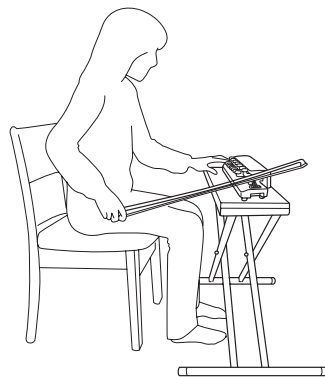
立って演奏する場合



座って演奏する場合



座って演奏する場合



● 弓奏（ボーイング）のポイント

弓奏の音色や音量は、次の3つの要素で決まります。

A：弓を動かす速さ（速いと大きい音⇔遅いと小さい音）

B：弦にかける圧力（大きいと強い音⇔小さいと弱い音）

C：駒との距離（遠いと太く大きい音⇔近いと細く小さい音）

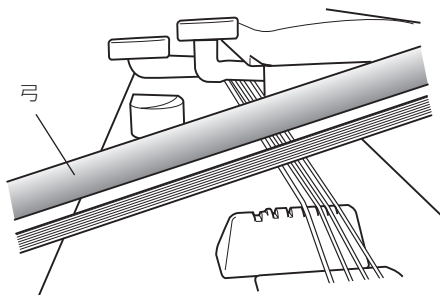
※ 弦にかける圧力は、音程にも影響します。

ヴィオラの基本的な音程は本体のフレットで決める仕組みなので、バイオリンなどと違い左手でできる音程調整の幅が限られています。したがって、弦圧は一定に（弓の重さだけで弾くような感覚）にして、強弱の変化は弓の速さで表現するようにしましょう。

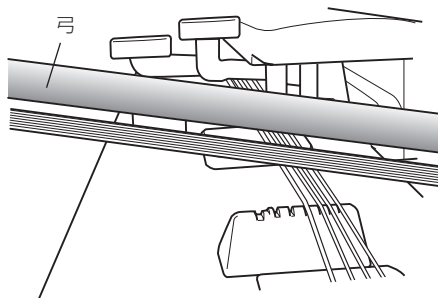
さまざまな奏法を覚えて、幅広い表現をしましょう。

- ・ 右図のように弓を斜めにして4弦または1弦だけを弾きます。（分弦奏：1本の弦だけを弾く奏法です。）
- ・ 曲想に応じて弓を平らにして、重音で弾くことも効果的です。
- ・ 弓を前後に小刻みに震わせて弾く、トレモロ奏法も効果的です。

弓を斜めにして、4弦だけを弾いてみましょう。



弓を斜めにして、1弦だけを弾いてみましょう。



● 左手（運指）のポイント

音階ボタンはしっかりと強めに押さえましょう。

正確な音程と響きを得るためには、弦がフレットにきちんと触れている必要があります。

弓奏は持続音なので、音の立ち上がりから終わりまで、音階ボタンを押す力の変化がすべて音程に表れます。

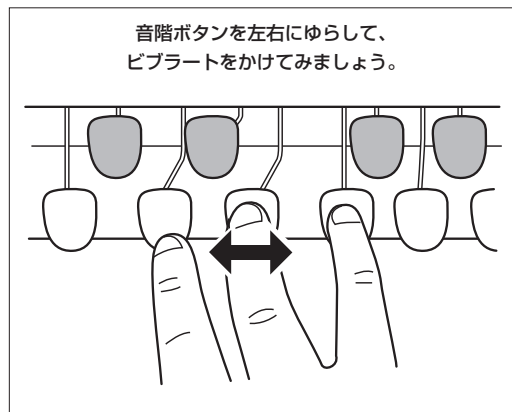
- ※ 弦がフレットに触れていない状態の時は、音程が低めで“ヒュルヒュル”といったあいまいな音しかしません。弓を動かしながら音階ボタンをゆっくり押し込んでいくと、弦とフレットが触れて、ハッキリと響きが変わる瞬間がわかります。

ビブラートをマスターしましょう。

音階ボタンを左右にゆらすと、心地よいビブラートをかけることができます。

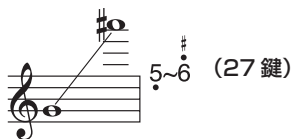
最初、慣れない時は右手の弓もつられて動いてしまいがちですが、少し続けているうちにコツがつかめます。

- ※ 楽器がないときにも、机の上で「左手の指を左右にゆらしながら、右手の指で前後に直線を引く」練習をすると、早くコツがつかめます。



ヤマハ ヴィオラ SH-30NW/SH-30NR 仕様

音域



左図は第 1 ～ 3 弦の音域です。
第 4 弦は 1 オクターブ低くなります。

弦

第 1 弦…細線 第 2 弦…細線 第 3 弦…細線 第 4 弦…細巻線

機能

・ ボリュームコントロール ・ トーンコントロール ・ リバース (2 タイプ)
・ 入力端子 (AUX IN) ・ ヘッドフォン / 外部入力端子 (HP/LINE OUT)

胴材質

松 (スプリース)

天板材質

マホガニー

天板塗装色

SH-30NW : ナチュラルウッド **SH-30NR** : ナチュラルレッド

電源

電源アダプター : Yamaha PA-3C、または別売の 9V 乾電池 (S-006P:6F22)

付属品

ハードケース × 1、電源アダプター (PA-3C) × 1、ヘッドフォン × 1、弓 × 1、松脂 × 1、
ピック (ソフト 1 枚、ミディアム 1 枚)、予備弦 (細線 / 細巻線 / 太巻線…各 1 本)、
ホーンコード × 1

* 仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合があります。

